

製品名: AKR1C1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82997**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,FC
反応性	人間、ネズミ、ウサギ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:200-1:400,FC 1:200-1:400
分子量	36.7kDa

抗原情報

遺伝子名	AKR1C1
別名	C9;DD1;DDH;DDH1;H-37;HBAB;MBAB;HAKRC;DD1/DD2;2-ALPHA-HSD;20-ALPHA-HSD
遺伝子 ID	1645.0
SwissProt ID	Q04828
免疫原	ヒト AKR1C1/AKR1C2 の合成ペプチド

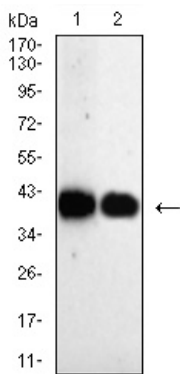
背景

この遺伝子は、40 種類以上の既知の酵素およびタンパク質からなるアルド/ケト還元酵素スーパーファミリーのメンバーをコードしています。これらの酵素は、NADH および / または NADPH を補酵素として、アルデヒドおよびケトンに対応するアルコールに変換す

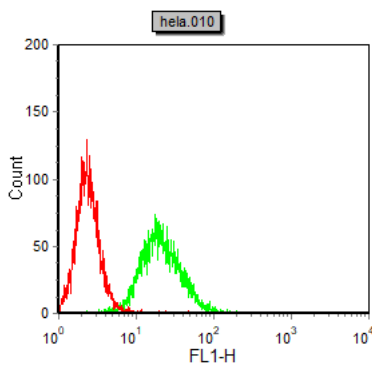
る反応を触媒します。これらの酵素は、重複しつつも異なる基質特異性を示します。この酵素は、プロゲステロンから不活性型 20- α -ヒドロキシプロゲステロンへの反応を触媒します。この遺伝子は他の 3 つの遺伝子メンバーと高い配列相同性を有し、染色体 10p15-p14 にこれらの 3 つの遺伝子とともにクラスター化しています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

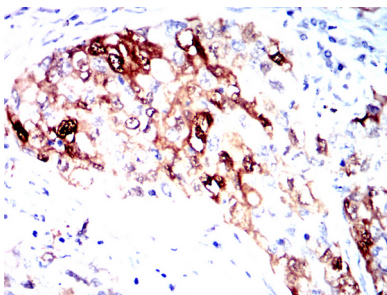
画像データ



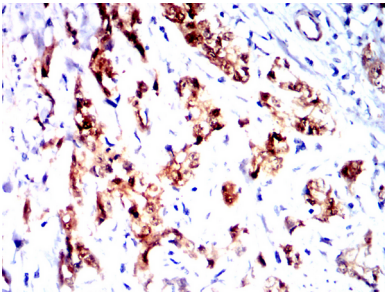
HepG2(1)マウス肝(2)細胞溶解物に対する AKRAC1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



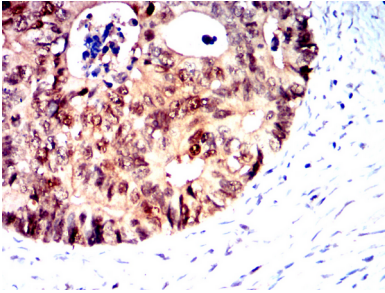
AKR1C1 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。



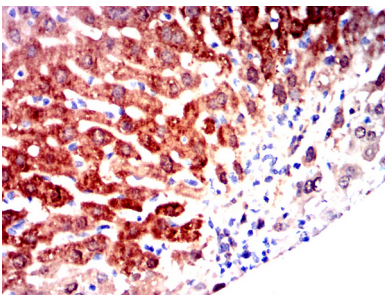
AKR1C1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。



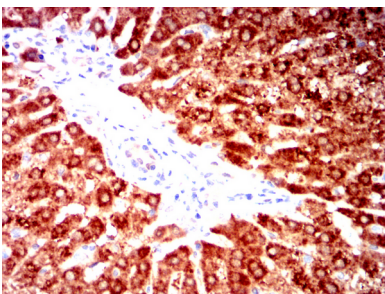
AKR1C1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト胃癌組織の免疫組織化学分析。



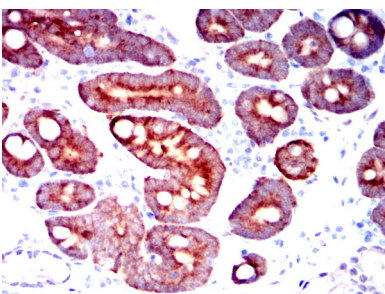
AKR1C1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。



AKR1C1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋マウス肝臓組織の免疫組織化学分析。



AKR1C1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ウサギ肝臓組織の免疫組織化学分析。



AKR1C1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ウサギ小腸組織の免疫組織化学分析。